

# インテリア コーディネーター

通信講座学習ガイド



## ■ 目 次 ■

1. インテリアコーディネーターの仕事内容…………… 1
2. 試験の概要…………… 2
3. 一次試験の内容と対策…………… 3
4. 二次試験の内容と対策…………… 5
5. 学習の進め方…………… 7

公益社団法人インテリア産業協会

ICG24-01

# 1. インテリアコーディネーターの仕事内容

## ●インテリアコーディネーターとは

インテリアコーディネーターは、省エネ・環境、経済性、安全性等を考慮した快適な住空間を提供するため、インテリア（家具、照明、カーテン、住宅設備等）の適切な選択や配置について具現化して、一般生活者に提案・助言を行うプロフェッショナルです。多様なインテリアに関する幅広い商品知識と感性が求められます。

## ●インテリアコーディネーターに必要な能力とは

インテリアコーディネーターの仕事は、クライアントの要望をヒアリングしてコーディネーションを提案することであり、対人的な関わり合いも多いため、コミュニケーション能力が大切です。また、インテリアの商品や材質に関する知識や情報を積極的にストックし活用する努力や、バランスの取れたインテリアコーディネート能力も要求されます。

## ●インテリアコーディネーターの役割

### （１）社会的には

住生活の質的向上の実現の一端を担うとともに、インテリアエレメントの流通過程において、必要な情報の提供と、総合的・専門的判断により、健全な住生活の普及に寄与します。

### （２）生活者にとっては

商品選択、インテリア計画作成の相談内容の課題や問題点が明確になると同時に、インテリアに関する正確な情報の入手が容易になり、生活設計に役立てることが可能になります。

### （３）産業界・企業に対しては

生活者ニーズの適切なフィードバックが得られるとともに、正確・適切な商品情報の提供により、依頼者の信頼の確保に貢献することができます。また、流通過程のコンサルティング機能の強化により、市場拡大が期待できます。

## ●インテリアコーディネーターの仕事内容

インテリアコーディネーターの仕事の多くは、「住まいづくりと生活者」、「住まいづくりとインテリア市場」という関係から成り立っています。住宅はもともと個人のものであり、そこに住む生活者がインテリアづくりをするのが理想的です。しかし残念ながら、現状では住まいづくりに関する知識や感性を学ぶ機会はあまりなく、生活者が自身のライフスタイルに合わせて総合的にまとめることは容易ではありません。

住まい手の要望を反映した快適な住空間を実現するために、インテリア商品を選択したり、アドバイスや提案を行ったりする仕事です。インテリアコーディネーターは、より良い住まいづくりを実現していくためのアドバイザーといえるでしょう。

### (1) インテリアコーディネーターの活躍の場

ハウスメーカー、インテリア建材・住宅設備機器メーカー、工務店（建設会社）、リフォーム工事店、インテリアエレメント専門店、ホームセンター、ディベロッパ、不動産販売、設計事務所、フリーランス等があります。

### (2) 依頼者の生活を知る

まず依頼者の生活について知ることを心がけましょう。日常の生活のしかた、部屋の広さ・使い方・イメージ、予算など依頼者の要望を聞き取ることは、コーディネーションワークの中で最も重要な事柄です。どのようなクライアントが、どのような生活を望んでいるのかを正確に把握し、インテリアをまとめ上げていくことが大切です。

### (3) インテリアコーディネーターのニーズ

住まいのインテリアのコーディネーションには、新築だけでなく、リフォームや増改築など、いわゆるリフォームマーケットが存在しています。インテリアコーディネーターはこのような機会に対応するほか、ショップやショールームなどにおけるコンサルティングやアドバイスといった仕事もあります。

### (4) ライフワークとして継続できる仕事

一般的にインテリアコーディネーターの業務は、①ヒアリング・事前調査、②カウンセリング、③イメージの具体化、④提案・調整、⑤実施計画・見積り・契約、⑥各種監理・手配、⑦引渡し・アフターフォローという順序で進められていきます。

ここでは、依頼者との信頼関係を築くことがなにより大切です。もちろん、コーディネーションの内容も大切ですが、ビジネスとしての基本ルールを守り、応答が明快であることも含めて「この人に頼んで良かった」と思われるような姿勢で、仕事に取り組んでいかなければなりません。

インテリアコーディネーターの業務を進めていくためには、自身の生活体験と業務経験が必要になります。自分の仕事によってクライアントに与えることができた満足感、自分自身への満足感であり、同時にやりがいへとつながっていくでしょう。

自身の実力をしっかり身につけることによって、依頼者との関係を長く保つことができ、インテリアコーディネーターという仕事が息の長いライフワークとなり得るでしょう。

## 2. 試験の概要

当該年度の4月下旬頃に協会ウェブサイト公表される受験概要をご確認頂きますようお願い致します。

協会ウェブサイト：<https://www.interior.or.jp/examination-ic/>



### 3. 一次試験の内容と対策

一次試験は、「CBT (Computer Based Testing) 方式」で実施され、受験申込者は、受験期間中に全国各地に設置されたテストセンターにあるパソコンで【一次試験】を受験します。試験時間は120分で、36問が出題されます。

一次試験で必要となるのは、知識の習得です。試験に問われる内容をどれだけ正確に理解し、頭の中に記憶できているか、ということに尽きるでしょう。

「試験の範囲と審査基準」を見るとわかるとおり、一次試験の出題範囲は大変広がっています。学習範囲が広すぎて、どこから学習してよいかわからない場合は、インテリアコーディネーターハンドブック（以下「ハンドブック」という。）の内容をしっかりと学習することから始めてください。

まずは、ハンドブックの目次に目を通して、学習の全体像をつかみましょう。続いて、ハンドブックの章の名称に合っているインテリアコーディネーターハンドブック スタディ・ガイダンス（以下「スタディ・ガイダンス」という。）で各章・節の学習のポイントを確認し、ハンドブックの該当箇所を読んで覚えましょう。

ハンドブックの学習がひととおり終わったら、スタディ・ガイダンスの「Let's Try」にハンドブックで学習した内容を整理しながら書き込みましょう。分からないところがあればハンドブックに立ち戻り内容を確認しましょう。

ある程度知識の習得が出来たところで、「学科レポート課題 (IBT 方式)」を受講し、改めて知識の定着度を確認し、間違えた問題については、表示される解説をよく読み、理解を深めましょう。学科レポート課題は3つの問題群がセットされていますので、出題形式に慣れるために、必ず受講しましょう。正解できなかった問題は、解説を読み、次に出題される際に間違えないようにすることが大切です。

また、学習していると、問題文や選択肢の中にはハンドブックに掲載されていない用語があることに気づきます。こうした用語は、インテリアコーディネーター向けの解説書や用語集が何種類か協会以外から出版されていますので、活用するとよいでしょう。

日常生活では、自分の部屋にある収納家具の素材は何で、その扉はどのように付いているのか、ソファの高さはどのくらいが適切なのか、部屋の照明のスイッチは床からどのくらいの高さに付いているのか、といったことを意識することが大切です。ハンドブックに書かれている膨大な内容を単に記憶しようとするのは容易ではありません。しかし、ハンドブックで学習した知識を、たとえば人体寸法と関連付けながら実物で確認することで、記憶に定着させることができます。メジャーを持ち歩き、基本的な寸法を確認する習慣をつけると、二次試験対策で、インテリアエレメントのレイアウトや動線の計画をする際に、必ず役に立つでしょう。

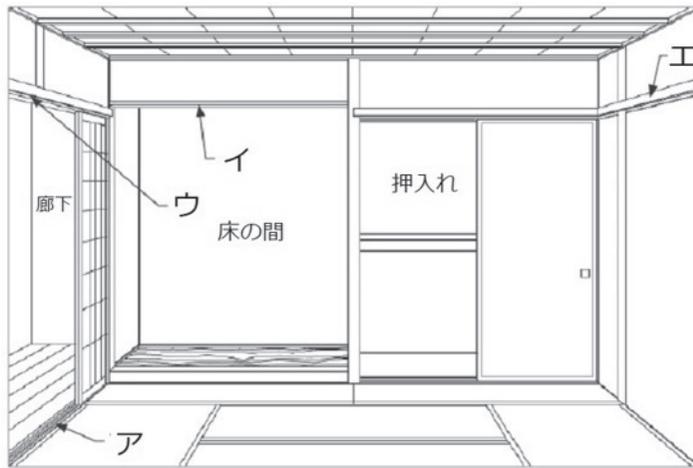
さらに、ハンドブックの内容以外にも、最近の住宅事情や動向を反映したものが出題されることもあるので、常日頃から広く情報を目にする努力も必要です。

「CBT (Computer Based Testing) 方式」による受験の仕方は、次の URL の協会ウェブサイトに掲載していますので、受験前に確認してスムーズに受験できるように備えましょう。

<https://www.interior.or.jp/movie/20230414.html>

●一次試験問題の例（イメージ）

和室各部の呼称を示した次の図中ア～エの各部分について、それぞれの解答群の中から最も適当なものを選びなさい。



【アの解答群】

- 雑巾摺り
- 敷居
- 畳寄せ

【イの解答群】

- 落とし掛け
- 天袋
- 床框

【ウの解答群】

- 胴縁
- 竿縁
- 鴨居

【エの解答群】

- 長押
- 額縁
- 吊り束

## 4. 二次試験の内容と対策

---

一次試験合格者に課される二次試験では、インテリアコーディネーターとして、より実務的な能力を審査するための課題が与えられます。二次試験は、プレゼンテーション課題と論文課題で構成され試験時間は180分です。まずはプレゼンテーション課題と論文課題の設問に目を通し、解答にかかる時間配分を考えることも必要です。

プレゼンテーション課題は、一次試験に含まれるインテリアコーディネーションの計画と表現技法を発展させたものです。増改築、リフォームなどの課題に対して、解答用紙に描かれている図面に、平面図、家具図、立断面図、パース、アイソメ図などの製図を行うもので、インテリア製図の能力とともに、課題条件を具体化する能力が審査されます。

論文課題は、インテリアに関する課題に対し、与えられた文字数で的確に解答することが求められます。課題についてわかりやすく文脈を立てて、的確に記述することがポイントです。

プレゼンテーション課題は、何がどのように配置されているかがわかり、依頼者に好印象を与えるような表現がされている必要があります。必ずしも図面をより美しく上手に描かないといけないうわけではありません。課題条件や依頼者の要望を受けて、インテリアコーディネーターが提案者として考えている事柄が、明確に伝わるように表現されているかどうか審査されます。

テキストでの学習が一通り終わったら、レポート課題にチャレンジしましょう。まずはプレゼンテーション課題と論文課題の設問に目を通し、解答にかかる時間配分を考えることも必要です。

# ●プレゼンテーション課題の例（イメージ）

## 【課題Ⅰ プレゼンテーション】

「ひとり暮らしを楽しむ住まいのインテリアコーディネート」

美術関係の職員の仕事をしている女性（60代半ば）が、自宅を建てることになり、この女性から図-1に示す住宅のインテリアコーディネートを依頼された。  
下記の条件により、依頼主に説明するためのプレゼンテーション資料を作成しなさい。

- 空間の条件
  - 建物は、木造平家建ての新築である。
  - 平面および開口部の形式・位置・寸法は図-1に示すとおりである。
  - 図-1の二重線部分（二二三）には、建具（H2100）を設ける。
  - 計画対象範囲の床仕上げはチーク材のフローリング、壁と天井は白の珪藻土塗りとする。
- 依頼主の要求条件
  - キッチンについて
    - キッチンのレイアウトはベニシユラ型とし、ワークトップ（W2400×D900）にはシンクとコンロを設ける。
    - 西側壁面には、作業台（下部は収納）、冷蔵庫、全自動洗濯機を収める扉付きキャビネットを配置する。
  - LDIについて
    - 食卓は4人掛け円形テーブルとし、友人との食事を楽しむ場にする。食卓用の椅子（W520×D485×H750）は図-2に示す手持ちの家具を使う。
    - 読書などができようように、図-2に示す手持ちのハイバックチェア（W760×D860×H970）とオットマン（W650×D500×H490）に加えて小テーブル1つを配置する。
    - 寝室との間の建具は、普段は開放にして開放できるようにする。
  - ワークコーナーについて
    - 図-1平面図に指定した位置に、南の壁面幅いっぱいにワークカウンタを設ける。
    - カウンターの下は、扉付き収納、オープン書棚、キャスター付きキャビネットなどを組み合わせた収納とする。
    - キャスター付きの椅子を1脚置く。
    - ワークカウンターの上部の適當な高さ・位置に棚板を設け、美術品などを置く。
    - 手持ちのリトグラフや写真などを壁面に飾る。
    - ウィンドートリートメントは、普段は開け放した状態で取り付ける。
  - 寝室について
    - 図-1平面図に指定した位置に、クローゼットを設ける。
    - クローゼットとベッドの間に、3つの側面から使える高さ900～1000mmの収納家具をクローゼットと平行に置く。
    - セミダブルベッドとナイトテーブルを置く。
    - 適切な位置に全身鏡を設置する。
- その他のインテリア計画
  - それぞれの生活の場に適した照明器具の配置を提案すること。
  - ウィンドートリートメント、インテリアグリーンなどを配置すること。

## 設問-1 インテリア平面図の作成（着彩しなくてよい）

解答欄1にインテリア平面図を作成しなさい。

- 室名、コーナー名を記入すること。
- 手持ち家具を含めた主要なエレメントについては、形状がよくわかるように表現し、名称と主要な高さ寸法を記入すること。
- 取納については、使い方がわかるように内部の仕切りを破線で表現すること。
- 照明については、ブラケットやスタンド式の照明器具は記入し、天井面の照明器具は破線で図示すること。
- ウィンドートリートメント、インテリアグリーンなどを記入し、床の目地も表現すること。

## 設問-2 ワークコーナーのインテリアパースの作成（着彩すること）

- 解答欄2に図-1平面図で指定した位置と方向でワークコーナーのインテリアパースを作成しなさい。
- ワークコーナーの使い方のイメージが分かるように表現すること（椅子は描かなくてよい）。
  - ウィンドートリートメントは、組み合わせたスタイル（形式）が分かるように表現すること。

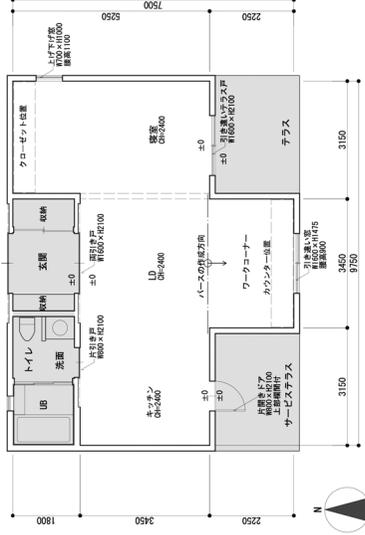


図-1 平面図 (S=1:100)

- 細掛け部分 は計画対象外
- 構造は本造

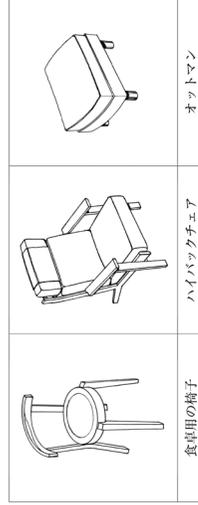


図-2 使用する手持ちの家具の姿

## 5. 学習の進め方

### ●教材について

本コースは、次の教材で構成されています。

総合コース	学科コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアコーディネーター ハンドブック〈上・下〉</li> <li>・スタディ・ガイダンス</li> <li>①インテリアコーディネーションの計画等</li> <li>②インテリアエレメント・関連エレメント</li> <li>③インテリアの構造・構法と仕上げ</li> <li>④環境と設備</li> <li>⑤歴史・表現・関連法規等</li> </ul>	学科レポート課題（IBT 受講） ①インテリアコーディネーションの計画等 ②インテリアエレメント・関連エレメント ③インテリアの構造・構法と仕上げ ④環境と設備 ⑤歴史・表現・関連法規等
	実技コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアコーディネーター ハンドブック〈上・下〉</li> <li>・テキスト インテリア製図の描き方</li> <li>・別冊 インテリア製図のトレーニング</li> </ul>	実技レポート課題（郵送による提出） 提出課題1 提出課題2

※学科コースは一次試験、実技コースは二次試験、総合コースは一次・二次試験に対応

※インテリアコーディネーターハンドブックは、各コースで1セットの提供となります。

### ●はじめに

学習を始めるにあたり、学習プランを立てましょう。受験日までの学習期間やペースなど、自身に適した工夫・時間配分で、プランを立てることが大切です。

### ●学科について

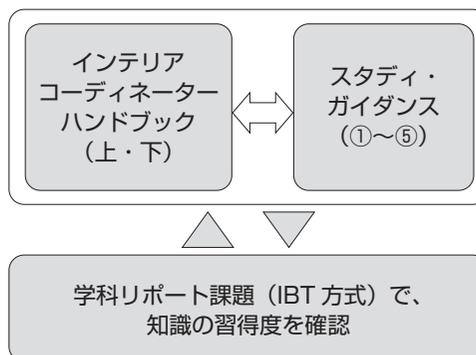
#### （1）ハンドブックの読み込み

学習の目安として、ハンドブックは最低3回読みましょう。（1回目は全体把握、2回目は細部の理解、3回目以降は知識の補強として）。

#### （2）スタディ・ガイダンスの活用

スタディ・ガイダンスはワークブック形式になっており、対応するハンドブックの章・節が指定されています。ハンドブックの該当箇所を読み、それからスタディ・ガイダンスに戻って学習した内容を整理しながら書き込んでいきます。

書き込む内容は、自分の知識に合わせて、知識が十分あるなら簡単に、あまり得意でないなら詳細にするとよいでしょう。一次試験までに自分なりの受験ノートを作るつもりでスタディ・ガイダンスを活



用してください。

学習はどの科目から始めても構いません。要点のまとめや用語解説もついていますので、かばんに入れて持ち歩き、隙間時間を利用して自分の学習したい分野を読んだりしてもよいでしょう。

### (3) 学科レポート課題 (IBT) の受講

①～⑤の各スタディ・ガイダンスの学習が終わったところで、習得した知識の確認のため、学科レポート課題 (IBT<sup>\*</sup>) に取り組みます。少なくとも1回は6割以上正解できるように頑張りましょう。

※ IBTとは“Internet Based Testing”の略語で、ご自宅等のインターネットに接続されているパソコン等から専用ウェブサイトにアクセスし、出題される問いに回答を行うものです。本通信講座では、申込時に作成された「マイページ」上にアクセスするためのURLが表示されています。

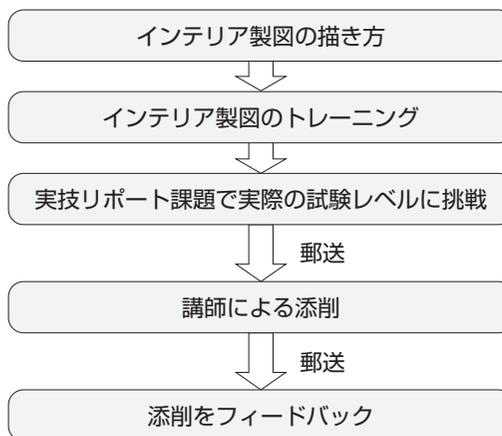
### (4) キーワードとなる用語の理解

実際の一次試験の出題は解答選択式です。学科レポート課題 (IBT) も始めのうちは、問題や解答を理解するのが難しいですが、そのようなときは設問の中からキーワードとなる用語を見つけ出しましょう。専門用語が多いですが、この用語の理解によって、前後の内容もわかりやすくなります。また、問題文や解答の選択肢にはハンドブックに記載されていない用語が含まれることもあります。正解以外の選択肢についても用語の意味を確認しておきましょう。

## ●実技について

「インテリア製図の描き方」では、プレゼンテーション課題に必要な道具やさまざまな図面の描き方を、順を追って説明しています。また、「別冊インテリア製図のトレーニング」で、徐々に難易度を高めながら図面の練習を進めていきます。

実技レポート課題は必ず提出しましょう。実際の試験問題に近いものになっていますので、自分の実力を試してください。



## ●実技レポート課題の受講

「実技レポート課題」は、専用の用紙を郵送で提出頂く方式です。“レポートセット”と記載された封筒に、[課題用紙1枚 (表裏)]、[解答用紙2枚] [提出用封筒2枚]が入っています。

まずは、課題をよく読み条件等を理解した上で、各設問の解答を解答用紙に記入してください。もし、いきなり解答用紙に記入することが不安な場合は、解答用紙をコピーしてそこで下書きをしてみてイメージをまとめてから解答用紙に記入しても構いません。

実技レポート提出の際には、解答用紙の所定欄に氏名などの必要事項を記入し、[提出用封筒]に入れて所定の金額の切手を貼り付けて簡易書留等で郵送してください。

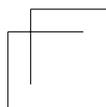
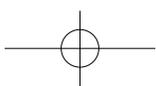
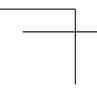
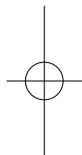
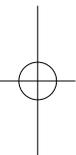
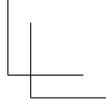
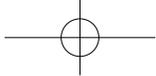
### ●さまざまな学習方法を取り入れる

机に向かう以外の学習も積極的に取り入れましょう。自宅の家具や仕上げ、設備に興味を持ち、インテリアショップやショールームで実物を確認してみることです。昨今はウェブカタログに力を入れている企業も多く、インターネットで検索すると様々なカタログを見つけられます。そういったものに目を通すこともよいでしょう。

### ●試験当日にむけて

試験当日には、それまでの学習で積み上げてきた知識を十分に発揮しなければなりません。それにはまず、1週間くらい前からの体のコンディションを整えておきます。試験会場までの交通機関や当日の持ち物も必ず確認しましょう。

試験の開始直後は、緊張感が伴うものですが、自分を信じて平常心を保って問題に取り組みましょう。





# インテリア コーディネーター

通信講座学習ガイド

公益社団法人インテリア産業協会



IC240607

## インテリアコーディネーター(IC)通信講座、キッチンスペシャリスト(KS) 通信講座の在籍期間と修了証の発行基準について

### 1. 在籍期間について

在籍期間とは、受講可能な期間のことで、各通信講座のコースにそれぞれ定められています。在籍期間の起算日は申込日の翌日とし、在籍期間の満了日は、起算日から各通信講座のコースに定められた在籍期間を経過する日(当該日が存在しない場合はその前日)が属する月の末日までとなります。

(例)2024/6/3にIC学科コース(在籍期間11か月)の受講申込が完了した場合、起算日は2024/6/4で満了日は2025/5/31となります。

通信講座・コース別の在籍期間は次のとおりです。

通信講座名	コース名	在籍期間
インテリアコーディネーター	学科コース	11か月
インテリアコーディネーター	実技コース	7か月
インテリアコーディネーター	総合コース	15か月
キッチンスペシャリスト	学科コース	11か月
キッチンスペシャリスト	実技コース	7か月
キッチンスペシャリスト	総合コース	17か月

### 2. 修了証の発行基準について

修了証は、次の基準で発行します。なお、発行基準の達成の有無に関わらず在籍期間中は、お申し込みの講座を引き続き受講できます。

#### (ア) IC

コース名	判定対象	判定基準
学科コース	学科レポート(IBT)	5分野全てで7割以上正答すること*。
実技コース	実技レポート	2課題ともに総合評価C以上の判定を受けること。
総合コース	学科レポート(IBT) および 実技レポート	次の①、②を満たすこと ① 学科レポート(IBT)が5分野全てで7割以上を正答すること*。 ② 実技レポートが2課題ともに総合評価C以上

\*1分野には課題が3つ(A,B,C)あり、そのうちいずれかの課題で7割以上達成できていればよいです。また、課題の判定基準を達成した後も含め各課題最大3回まで取り組むことが可能です。

(イ)KS

コース名	判定対象	判定基準
学科コース	学科レポート(IBT)	5分野全てで7割以上正答すること*。
実技コース	実技レポート	2課題ともに総合評価C以上の判定を受けること。
総合コース	学科レポート(IBT) および 実技レポート	次の①、②を満たすこと ① 学科レポート(IBT)が5分野全てで7割以上を正答すること*。 ② 実技レポートが2課題ともに総合評価C以上の判定を受けること。

\*1分野には課題が3つ(A,B,C)あり、そのうちいずれかの課題で7割以上達成できていればよいです。また、課題の判定基準を達成した後も含め各課題最大3回まで取り組むことが可能です。

<ご参考>

IC/KS学科レポート(IBT)の分野と課題数等について

(ア)IC

分野名	課題数	設問数*
1.インテリアコーディネーションの計画等	3(A,B,C)	6
2.インテリアエレメント・関連エレメント	3(A,B,C)	6
3.インテリアの構造・構法と仕上げ	3(A,B,C)	6
4.環境と設備	3(A,B,C)	6
5.歴史・表現・関連法規等	3(A,B,C)	6

\*1設問は、4つ程度の小問題で構成されています。

(イ)KS

分野名	課題数	設問数*
1.住居と食生活	3(A,B,C)	6
2.キッチン空間	3(A,B,C)	6
3.キッチン機能	3(A,B,C)	6
4.キッチン設計・施工	3(A,B,C)	6
5.キッチン販売	3(A,B,C)	6

\*1設問は、4つ程度の小問題で構成されています。